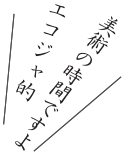


徳島県立近代美術館企画交流室長
森 芳功 の



美術をたのしむ、美術館をたのしむ

その95 墨の表現の魅力のことなど

年度末はいかがでしたか

年度末から新年度にかけて、みなさんはいかがお過ごしだったでしょうか。慌ただしい日をおくつた方も少なくなかったのではないのでしょうか。私は、前年度の展覧会（「25のとびら展」）のワークシヨップ報告書やユニバーサルミュージアム事業の活動報告の作成などで忙しくしていました。その作業のとき、人の記憶がだんだんと曖昧になっていくのを実感し、少し面白く感じました。多くの事業をしていますので、細かなことになると数年前の出来事がなかなか思い出せないのです。そのため同僚と手分けして資料を探したり、関わった人に確認したりして原稿を整えました。活動が進行しているときは、同じ経験をした人が近くにいるため、不自由はないのですが、やがてその記憶も薄れてしまいます。それに体験型の催しの場合、参加していないと分からないことも多く、経験を共有するためには写真や文章の記録が大事な手がかりとなるのです。ユニバーサルミュージアム事業の活動報告は、当館におけるこの活動の五年間をまとめたもので研究紀要に掲載しました。当館ホームページにもアップしましたので、ページ画面の左側、「活動」のところから入って探してみてください。「25のとびら展」のワークシヨップ報告書は、県内の図書館などでご覧いただけるよう準備しています。このように書きはじめながら、やはり気になるのは四月半ばから続く熊本地震の被害についてです。被災地の学芸員の情報も人づきました。余震が続くなか、実働が可能な職員や避難所から通う作業員さんで、作品の保全や点検をしているそうです。

水墨画の特集

地震のニュースを気にしつつも、ここでは徳島県立近代美術館の春の展覧会からご紹介することになります。私が関わったものとしては、「特集 水墨画を楽しむ（鑑賞シート）」の紹介とともに「鑑賞シート」を開催しています（五月五日まで）。

当館では、小学校の図工や中学校の美術などの授業で使うカラー図版入りの教材、「鑑賞シート」を作成しています。これまで三種のシートをつくっていますが、今回の特集では、最

新のシートである「墨と紙の世界」を紹介しつつ、シートでとりあげた大栗旌衍（山寺夕靄）、森山知己（雪音）など、当館所蔵の水墨画をご覧いただいています。（「さんじせきあい」という。）

大栗は、靄に煙る山中の寺を水墨の濃淡を活かして表しています。森山の作品は、徳島県の祖谷に取材した雪景色です。地塗りに使われた色の効果によって、多彩な色彩を感じさせる画面がつけられています。木の幹に使われている滲みは、たらし込みといわれる技法です。河口楽土（老紅梅）などを含め、墨と絵具を併用した水墨画がある方、林雲殆（雲山無窮）などは、墨だけを用了表現です。

墨の表現は、ぼかしや滲みなど多彩な魅力があります。「鑑賞シート」には、技法の例も掲載していますので、会場でご覧いただきながら、展示室の水墨画をお楽しみいただけたらと思います。

「鑑賞シート」についてももう少し述べておきましょう。「墨と紙の世界」シートは、二〇二二年の特別展「墨と紙が生み出す美の世界」展がきっかけとなりました。そのとき、学校や保育所と連携して鑑賞と墨の体

験を行うワークシヨップを開いたのですが、子どもたちの反応がよかったことから教材化したもののなのです。鑑賞教育を研究する先生方の授業も重ねられて、実践記録やシートの使い方、「三知識」などを収録した「指導の手引き」もつくられました。「鑑賞シート」は、学校の授業で使うための教材ですので、一般の人の目に触れる機会はあまりありませんでした。そのため今回は、当館所蔵の水墨画をご覧いただきながら、シートについて紹介することにしたのです。

墨の授業の広がり

それにしても出前授業へ行く度に、墨のもつ魅力や可能性を感じます。子どもたちの豊かな表情に触れることができるからです。硯で墨を磨り、濃くなっていく墨色を見、香りを感じ。筆に墨を含ませ紙に描く。水で滲み変化していく濃淡のようすも興味深く、乾いたときの墨色も美しく感じられます。これらのことは理屈でなく、どれも実際に手を動かすことで体感できますので、親しみやすいようなのです。

難しく考えがちな大人より

も、子どもたちの方がストレー
トにその魅力を味わえるのかも
しれません。先入観がないだけ
に、鉛筆で写實的に表すのが苦
手な子も伸び伸びと描きます。
そのような体験をすると、美術
館で水墨画を鑑賞するとき、興
味をもつて見てくれるのです。

徳島では、墨の体験学習と水
墨画鑑賞が毎年、少しずつ広が
っています。小学校の先生のお
人は、その成果を今年三月に大
阪で開かれた美術科教育学会
の全国大会で発表しました。そ
の先生の授業で小学校三年生の
児童は次のように話しています。

・墨の体験はすごかったです。そ
れは、にじみです。一回やると
じゅわあつてにじみ、いん石み
たいになります。ほかにはあ
さがおみたいになりました。
おもしろかったです。
・丸いぐるぐると三角形をつ



大栗旌折 山寺夕靄 1931年

なげてかきました。その絵
を水を使ってにじませてみま
した。するとなんと鳥の形に
なりました。すごきれいに
鳥の形ができたので、すこく
うれしかったです。

わくわくする様子が伝わつて
きます。私は水墨画鑑賞のとき
に子どもたちを案内したのです
が、質問や意見がたくさん出て
きました。指導した先生は児童が
「墨での表現を自分自身で体験
することが作品の鑑賞における
意欲関心へと結びつく人口とな
たのではないかと語っています。

このような体験学習は、県内
の保育所にも広がっています。
子どもたちの反応が大きい
ので、指導する保育士さんも楽
しくなっ
てくるか
らなので
しょう。



アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉1. 道化師 1947年

関心を集める展覧会

近年墨の表現のよさは、だん
だんと見直されてきているよう
です。先日休みを利用して、
金沢21世紀美術館の「生誕百
年記念 井上有「展」を見てき
ました。一九五〇年代のサンパ
ウロビエンナーレなどに出品し、欧
米でも高く評価された戦後現
代書を代表する書家の回顧展で
す。彼の墨による造形は、絵画と
しての質を備えており、書分野
を超えた再評価が進んでいます。

私が見学した日はチケット
売り場に長い行列ができていて
かなりの賑わいでした。冬の時
期を含むと北陸の美術館は集
客に苦戦するそうですが、暖
冬や新幹線の開通が重なった
とはいえ入館者数は
九万人といえますので、
相当な関心が集まっ
たようです。

また近年は、欧米
からやってくるツアー
客のなかに、日本各地
の水墨画を鑑賞して
まわるグループがある
という話も聞きます。
西洋には墨の伝統が
ありませんので、墨の

表現に新鮮な魅力を感じてい
る人がいるのでしょう。国内外
で墨の表現に対する関心が少
しずつ高まっているようなので
す。徳島の子どもたちが墨の体
験で楽しそうな表情を見せる
のも、時代が求めているものと
どこかでつながっているのかもし
れません。

ところで五月の連休に、墨の作
品を見て回るのはいかがでしょ
うか。兵庫県立美術館では、「生
誕一八〇年記念 富岡鉄斎展」
が開かれています(五月八日ま
で)。鉄斎は、日本近代を代表す
る文人画家で、当館の「鑑賞シー
ト」で子どもたちにも親しまれ
ています。お客さまからは、大阪
市立美術館の「王羲之から空海
へ(五月二日まで)」を薦められ
ました。所蔵作品展のコーナー
ではありますが、徳島県立近代
美術館の「特集 水墨画を楽し
む」もお忘れなく。

巨匠たちの版画

当館では、拡大展示「巨匠た
ちの版画」が始まりました。二
〇世紀美術を代表する四人の
作家、シャガール、マティス、ピカソ、
ルオーの版画を紹介しています。
出品作品は百点。シャガールの

版画集「ダフニスとクロエ」(四二
点)、マティスの版画集「ジャズ」
(二〇点)などをまとめて見る
ことができる貴重な機会です。
「特集新収蔵作品を中心に」も
始まりますので、注目ください。

5月の催し

■所蔵作品展 2016年度
第1期「特集 水墨画を楽しむ
(鑑賞シート)の紹介とともに」
15日「日」まで、「特集 新収蔵
作品を中心に」17日「火」から、
拡大展示「巨匠たちの版画―シ
ャガール、マティス、ピカソ、ルオー―
6月5日「日」まで

・子ども鑑賞クラブ 墨仙人の巻
14日「土」14時～14時45分 小学生
対象(保護者同伴可)

・きんぴせセミナー 先生のための水
墨画講座(鑑賞と制作)15日「日」
13時30分～16時、定員…20人 講
師…山本敏子(小学校教諭)、森芳
功(当館)、要申込(電話、ファックス、
メールにて)

・テーマで知る名品「新収蔵作品を
中心に」22日「日」14時～14時45分、
講師…吉川神津夫(当館)

・展示解説「巨匠たちの版画」29日
「日」14時～14時45分、講師…江川
佳秀(当館)

□文化の森こどもの日フェスティ
バル5月5日「木」祝

・水墨画のお気に入り投票、美術
館でちよと息「すー」 9時30分
～16時

・ミニ解説 11時～、14時～、
15時～